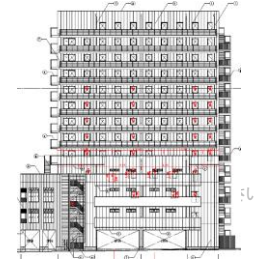


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ヤマタネ藤沢ビル新築工事	階数	地上13F
建設地	神奈川県藤沢市南藤沢16-1,2,3,4	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域	平均居住人員	739 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、集会所、ホテル、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年12月12日
敷地面積	1,308 m <sup>2</sup>	作成者	大和ハウス工業㈱
建築面積	810 m <sup>2</sup>	確認日	2019年12月13日
延床面積	5,856 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業㈱



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.7

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.1

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
・地球温暖化防止に努めた取組みを行っている。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・遮音性能、温熱環境、光環境、空気質環境に配慮している。	・機能性、耐用性に配慮している。 ・階高、壁長さ比率の確保等、空間のゆとりにも配慮している。	・緑化を行っている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・省エネルギー性能の向上に努めている。	・節水性能に配慮している。 ・リサイクル材の活用にも努めている。	・省エネルギー性能を高め、LCCO <sub>2</sub> 排出率の削減に努めている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される